

井の頭恩賜公園花便り



3月頃から葉の出る前に穂状花序を垂らし鐘状の花が開きます。染料に使用する「五倍子フシ」の代用として使われたため「木五倍子キブシ」と言われるようになりました。



芳香のある白い花が枝先に咲いて春を告げてくれます。花弁は6枚あり花の下に小さな葉が一枚つくのが特徴です。コブシは花弁が開きますが似ている花のモクレンは開ききらずに開花します。



山野に生え1~2cmの花柄を出して淡いピンクの小さな花をつけます。名前(カグラ)の由来はウグイスがさえずる頃に咲き始めて隠れたり、ウグイスが舞う様子から名付けられたという説もあります。

花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所 (Tel.0422-47-6900) までお問い合わせください。